

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本電気株式会社（証券コード:6701）

【据置】

長期発行体格付 **AA-**
格付の見通し **安定的**

■格付事由

- 国内 IT サービスを主軸に、海外 IT サービス、テレコムサービス、エアロスペース・ナショナルセキュリティ（ANS）に展開。ANSは防衛、航空・宇宙、海洋で構成される。売上の国内依存度が高いものの、優良かつ安定的な顧客基盤を構築している。26年5月にはテレコム/ブロードバンド（BB）事業者向けソフトウェア企業である米 CSG 社を買収。当社の子会社でテレコム事業者を主要顧客とする米 Netcracker 社とのシナジー創出も狙って、テレコム/BB 事業者向けソフトウェア・サービスの事業基盤の強化を図った。
- 国内 IT サービスは DX などの潮流を追い風に事業環境が総じて良好であり、当社の業績も好調である。データドリブン、モダナイゼーション領域のシナリオ提供などを通じて、収益性も向上している。また、防衛領域の受注高の水準が高まっており、同領域の業績も拡大基調にある。加えて、ノンコア事業への対処といった継続的な事業ポートフォリオマネジメントも奏功している。一方、買収した CSG 社の取得価額は小さく、CSG 社の純資産に照らすと、のれんも嵩むとみられる。ただ、当社の収益力、キャッシュフロー創出力は向上しており、27/3 期末の財務構成への影響は限定的なものにとどまる見通しである。これらを勘案し、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 26/3 期営業利益（IFRS）は 3,599 億円（前期比 40.3%増）と 4 期連続の増益となり、増益基調が強まった。テレコムサービスで基地局事業見直しに伴う費用計上があったが、IT サービスは国内外で好調。また、防衛領域が伸長するとともに、海洋の品質問題にかかる費用が減少した。一方、27/3 期は営業増益が計画されているものの、部材調達リスクやマクロ経済環境の不透明さを踏まえたアローワンスを織り込んだこともあり、増益ペースは一旦落ち着く予想となっている。CSG 社の貢献度合いも含め、業績動向を見守っていく。
- 26/3 期の営業キャッシュフローは 4,384 億円（前期は 3,444 億円）へ伸長した。子会社の NEC ネットズエスアイに対する TOB に伴い、持分変動による資本剰余金の減少があったものの、利益剰余金の積み増しもあり資本が拡充された。26/3 期末の親会社所有者帰属持分比率は 49.2%（前期末 45.2%）へ向上し、ネットキャッシュへ転じた。ただ、27/3 期末は CSG 社の買収により、ネットキャッシュの維持が難しくなる可能性がある。また、27/3～31/3 期までの 5 年間で 1.2～1.3 兆円の成長投資余力（CSG 社を含まない）があるとしており、成長投資のペースを確認していく。

（担当）本西 明久・関口 博昭

■格付対象

発行体：日本電気株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年6月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「電機」(2024年2月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日本電気株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル